

館報

おみ

5月号
No.710

2026. 5.25 (令和8年) 編集と発行／長野県東筑摩郡麻績村公民館
TEL 0263-67-2240



▲足るを知り 感謝を祈り ～福森祭 座禅体験～ (福満寺 5月3日撮影) 関連記事2面

福満寺 春の例大祭と福森祭

福満寺では五月三日に例大祭が行われ、村宝の護摩堂で護摩木（ごまき）を焚いて、無病息災などを祈願しました。普段入ることができない収蔵庫（瑠璃殿）では、国指定重要文化財の薬師如来坐像、日光・月光菩薩立像や不動明王・毘沙門天立像など貴重な像がご開帳され、多くの皆さんが拝観していました。

この例大祭に合わせて、「繋がること、足ることを知り祈ること、八百万の神さまと土地への感謝祭」を基にして、二〇一九年の「福満寺 de まんぷくマル



▲さまざまなブースが並ぶ



▲演奏に合わせた幻想的な踊り

シエ」以来のマルシェやイベントを行う福森祭が開催されました。

村内外から多くの方が訪れ、寺前の広場では草木染食品や民芸品など多くのブースが展開しており、お客さんで賑わっていました。本堂では、静かな中で姿勢を正しての座禅体験や（写真は一面）、オーストラリアの楽器「ディジュリドゥ（右写真）」などによる演奏に合わせてパフォーマンスが幻想的に踊り、会場を楽しませていました。

聖高原弁財天祭り

聖高原の湖畔にある社の前では、五月五日に関係地区の皆さんが集まり、聖民

芸保存会による獅子舞を奉納する弁財天祭りが執り行われ、水不足などにならないよう祈っていました。

この社の中には石祠があり、「麻績村の石造文化財」には、「種別「石祠（弁財天）」「造立年銘「未記載」「場所「聖湖畔」「高さ九〇cm×幅五〇cm」「備考「石祠の中に弁財天（丸型立像）あり」と記載（館報おみ六八八号五面参照）があり、弁財天が安置されています。



▲石祠の中の弁財天

麻績学級がスタート

第一回麻績学級を五月十五日に開催し、今年度の学級がスタートしました。

第一部は塚原勝幸村長が人口減少などの課題に対してこれからの村政を語った「村長講話」、第二部は「花



▲ピアノとバイオリンの美しい音色

音trioコンサート」を行いました。

花音trioの皆さんは、昨年度の公民館音楽鑑賞会などの教育委員会関係のイベントで演奏を披露されている皆さんです。

コンサートは、モーツァルト作曲「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」といった楽曲の演奏以外に、楽器の紹介、「たなばたさま」といった童謡を参加者と一緒に歌いました。またイントロクイズを行い、「情熱大陸」など有名曲を披露し、約二十人が素晴らしい演奏を鑑賞しました。

おみっこ元気くらぶ

教育委員会は、第一回お



▲おみっこ元気くらぶスタート！

みっこ元気くらぶを五月九日からスタートさせ、小学生の登録者四十六人（当日時点）のうち、約二十人が参加しました。

開校式で子どもたちは、一年間お世話になる信州大学教育学部のボランティア「YOU遊未来（ユーユーチャンス）」の皆さんとの顔合わせなどを行いました。子どもたちは、三つの班にわかれてウォークラリーを楽しむとともに、戻ってからプレゼントにする母の日のメッセージカードを一生懸命に作っていました。

おみごと ギャラリー

市野川 若林茂富さん

創意あふれる
慈しみの庭

五月中旬、若林さんの庭では、今年もまたクマガイソウが見頃を迎えました。無骨な鎌倉武士の名前をいただく花ですが、ヒダが寄った大きな二枚葉から伸びる茎、ピンクを散らしたクリーム色の花が優美です。その美しさにひかれた茂富さんが知人から譲り受けた一株を植えたのは四十数年



▲自慢のクマガイソウ



▲若林茂富さん



▲魅力的な庭

前。今では三十輪ほどが松の木陰に咲いています。ひなたにも数本、根を伸ばしているようで、「こっちでも咲かないかと、楽しみにしているのです」とデリケートな山野草を大切に育ててきたことがうかがえます。

目を転ずると、庭を囲むように大きく枝を広げた松があります。茂富さんが自ら仕立てたものだそうですが、「マツクイムシの被害が広がってきて心配です」とのこと。あんどん仕立て

のアケビづる、実生から育てたナンテンの横には白ナンテンも植えて、秋も見ごたえがありそうです。多肉植物に覆われた石灯ろう、自作の屋号表札の上には木の根で作られた鳥が飛んでいます。魅力的な庭造りに感心すると、「自分が楽しんでいられるだけ」と庭の主は柔和にほほえみます。コンクリートの割れ目に抜かず残された草木に、お人柄がにじみ出る素敵な庭です。



▲吊り忍 (つりしのぶ)

スポーツ激励賞授与

令和七年度に各種スポーツ競技会で優秀な成績を収めた選手の皆さんに対して、四月二十七日に麻績村体育協会から激励賞を授与しま

した。

この賞は、スポーツ育成を図るため、県大会以上及びそれに準じる競技会で優秀な成績を収めた麻績村民に対して、村体育協会が授与するものです。

激励賞を受賞された皆さんと大会結果は、次のとおりです(写真は、出席者のみ掲載しています)。

◎清水 大選手

第八十回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会青の煌(きら)めきあおもり国スポ二〇二六(青森県)ジャイアントスラローム成年男子C 優勝



◎黒岩千隼 選手

第十一回全国空手道選手権大会(東京都)中学三年生男子形の部 第三位

◎宮下 椋聖 選手(松本ヴィガフェニックス)
第四十五回全日本バレーボール小学生大会全国大会(東京都)男子 第八位



◎宮下 愛梨 選手(豊科JVC)
第四十五回全日本バレーボール小学生大会長野県大会(軽井沢町・佐久穂町)女子 優勝(全国大会出場)

◎黒岩昇矢 選手

第二十三回長野県小学生空手道選手権大会(佐久市)小学五年生男子組手の部 第三位(全国大会出場)



鯉のぼりを見に行つたよ

麻績保育園のバス遠足が五月十五日に行われました。行き先は、鯉のぼりが大空を舞うシェーニングガルテンおみの芝生広場で、みんな楽しく追いかけてこやぶランコなど、いっぱい遊んでいました。

遊んだ後のお弁当は、格別のように、おいしそうに食べていました。



▲鯉のぼりの下でお弁当

ナマステ信州麻績村

第三回ナマステ信州麻績村が五月二十三日、聖高原で開催されました。

恒例の屋外炭火ビリヤニ教室やインドに関する物販以外にも、ターメリックと

玉ねぎの皮を利用した草木染体験、地域おこし協力隊による伝統工芸品の出展など会場は、たいへん賑わっていました。

ビリヤニは、インドなど南アジアのスパイスとお肉の炊き込みご飯で、今回はインドのタミルナドゥ州アンブールの名物である「アンブールマトンビリヤニ」を、大きな木ベラを利用して豪快につくり、その様子を大勢の方が撮影していました。

また、タミル民族の舞踊公演もあり、太鼓やスカーフを利用した二人のダイナミックな舞踊のあとには、一般の方も円をつくって踊りに参加していました。



▲豪快にして繊細な調理を見て楽しむ

へら鮎釣り大会

第三十六回聖湖へら鮎釣り大会が五月十七日、聖湖で開催され、県内外から八十三人の太公望が集まりました。

開始の午前五時から納竿の午後二時までの間、釣果を競い合っていました。

大会の結果は、次のとおりです（敬称略）。

一般の部

- 優勝 松本 学（茅野市） 8・6 kg
- 準優勝 丸山仁史（長野市） 8・2 kg
- 第三位 田中康彦（須坂市） 7・9 kg
- 第四位 上原秀夫（須坂市） 7・5 kg



▲太鼓を用いたタミル族の舞踊を披露



▲大物ゲット！

大型賞

- 優勝 北沢友典（青木村） 40・0 cm

ジュニアの部

- 優勝 勝千葉 環（茅野市） 1・5 kg

レディースの部

- 優勝 佐鳥洋子（埼玉県） 4・3 kg

- 第五位 久保田健二（千曲市） 7・5 kg

- 第六位 宮沢純二（天王） 7・0 kg

- 第七位 宮嶋佐一郎（新潟県） 6・6 kg

- 第八位 吉田行考（塩尻市） 6・5 kg

- 第九位 小林正人（長野市） 6・3 kg

- 第十位 小池規夫（佐久市） 6・2 kg



最近、オイルパステル画を始めた。絵を描くのは十代以来のことだ。主に身近な風景を描いている。移り

ゆく季節やちよとした感動を、アナログな方法で残したかったのかもしれない。見慣れた道端の草花や夕暮れの山並みも、パステルを手にするると普段以上に世界が繊細かつダイナミックに飛び込んでくる。

年を重ねてから新しいことを始めるのは、想像以上に刺激的で楽しいものだ。なかなか思うようには描けないが、そのもどかしさがさらに絵に向かう原動力となる。真っ白な紙に向かい、日々の小さな感動を写し出す行為は、日常に新しい色を添えてくれる。

パステルを通して、そんな喜びを噛みしめる毎日だ。今日もまた、どんな風景を見つけに行こうかと心躍る時間を楽しんでいる。

元氣通信!!

今月の小・中学校

麻績小学校

市町村対抗 小学生駅伝大会躍進!

第二十一回長野県市町村対抗小学生駅伝競走大会が四月二十五日、やまびこドーム周辺コースで開催されました。

今年度は、「駅伝大会に出場しなくても、一緒に走って応援したい」という思いから練習に参加する子どもたちとともに、麻績川周辺で実際に走る距離一、二kmを想定して、練習に取り組みました。



▲やまびこドーム前で記念撮影



▲タスキを胸にゴールを目指す

当日は、プログラム記載の「共に練習した皆の想いをタスキに込め、チーム麻績全員の力でゴールを目指します」という意気込みで、学校目標「心豊かにたくましく」の「思い合い」「鍛え合い」の体現を目指した選手たち。応援の保護者の皆さんや子どもたち、麻績

村教育委員会に作成いただいた横断幕にも背中を押され、一走から四走までタスキに思いを込め、全員が自己記録を大幅に更新し、見事、参加六十二チーム中、二十六位という村の部で第五位の成績を収めました。応援、ありがとうございます。

筑北中学校

小中交流給食

二年 飯森菜々湖
私は小学生といろいろな遊びをしたと思います、事前に準備をしてきました。遊びでは、「答えを合わせようゲーム」をしました。



▲小学生と給食を食べながらの交流

みんなで答えをそろえるゲームだったのですが、意外と意見が合わなくて、とても面白かったです。

特に印象

に残っているお題は、「おにぎりの具といえば?」です。私は梅干しや鮭を思い浮かべていたのですが、小学生はツナマヨと答える人が多くて驚きました。結局、みんなの答えがそろったのは、「オムライスにかけるものといえば?」というお題でした。

小学生とたくさん交流できてよかったです。

修学旅行

三年 小島あかり

早朝、私たちはスーッとバスを引きながら学校に集まりました。お母さん達に手を振って中学校を出発しました。

まず、五重の塔を見ました。近くで見ると写真では



▲迫力ある五重の塔

感じられない迫力がありました。興福寺には、阿修羅像がありました。最後に奈良公園へ行き、友達と一緒に鹿せんべいをあげましたが、鹿がたくさん寄ってき大変でした。

二日目は、班別行動でした。まず、伏見稲荷へ向かいました。やっぱり千本鳥居は写真で見るとよりかなりの迫力と人の量でした。

最終日は東寺の「立体曼荼羅・チームラボ」に行きました。

この六で行ける最後の修学旅行でしたがとても楽しく良き思い出になりました!また大人になったらこの六人で修学旅行に行きたいです。

麻績の神社と 薙鎌信仰について

(その十六)

日向神社(旧村社) について(続き)

六、神社の清掃活動 について

神社の清掃は、学童・青少年によって行われていた。昭和九(一九三四)年十二月十六日に、神社協会より各部落清掃で表彰されている。

戦時中の「日向国民学校公文書綴」には、昭和十七(一九四二)年度日向村少年団七月常会指示事項として、「日曜朝神社清掃ニ関スル件並忠霊碑清掃ノ件」とあり、同年十月二日に日向神社の清掃が行われた記録がある。

七、学校における

崇拜施設について

(一) 奉安殿について
小学校の敷地内には、神社とは異なる奉安殿・忠魂碑・戦捷記念碑が祀られて

いた。奉安殿は、広辞苑に「御真影教育勅語謄本などを奉安するために学校敷地内につくられた施設」とある。御真影は、天皇・皇后の写真または肖像である。教育勅語は、明治二十(一八八七)年に発布された明治天皇の国民道德の根源と教育の基本理念を明示した勅語である。

麻績小学校では、明治二十六(一九一三)年十月二十九日、長野まで出迎え御真影を奉戴し、猿が馬場峠を越え、役場・学校職員・生徒一同が市野川まで出迎えて学校に帰着後、直ちに奉迎式を行い、体操場兼講堂の奉安庫に奉安された。開戦前の昭和十五(一九四〇)年十一月二十五日、奉安殿を落成している。

日向では、大正五(一九一六)年十一月三日、天皇即位記念として竣工している。

学校には宿直員が置かれた。規定が定められ、「御真影並ニ勅語謄本奉護」と記され、守ることが第一の任務であった。

戦後に連合軍総司令部(GHQ)より指令が発せられた。昭和二十一(一九四六)年二月二十一日「御真影奉安殿英霊室又ハ郷土室等ノ神道的象徴除去ニ関スル件、七月二十九日には御真影奉安殿撤去ニツイテ」とある。昭和二十一年十一月八日に撤去した。

(二) 忠魂碑について

明治維新前後から国のために殉難した人の御霊を祀った神社に招魂社があった。昭和十四(一九三九)年には護国神社に改称される。

地方では、遺族会・在郷軍人会などによって、忠魂碑が建立された。

旧麻績村には、忠魂碑はなかった。神明宮に境内社招魂殿がある。「麻績尋常高寺小学校昭和十二年度職員録」に「十月十四日神明宮並招魂社参拝」と記されている。昭和四十三(一九六八)年宮本神明宮境内に殉国英霊芳名碑が建立されている。日向村では、昭和七(一九三二)年四月三十日、日向小学校の校庭に建立され、五月四日に除幕式

が行われた。この忠魂碑は、終戦直後、公用地からの撤去を命じられ、昭和二十一年十一月八日に撤去され、校庭に倒置されていた。昭和二十二(一九四七)年二月四日に福満寺へ運搬、五月に福満寺境内に再建した。

五五四)以前のものだという伝承がある。昭和五十(一九七五)年発行の館報おみ日向神社の記事には、「当社には、神宝として、薙鎌(ナギナタガマ)があるが、これは諏訪の諏訪大社より七年毎の御柱祭の際、授与されるもので、その最も古いものは諏訪大社の宮司さんの説明によると、全国であまり類例が見られず数少ないものだといわれている」と記されている。

(三) 戦捷(勝)記念碑について
昭和八(一九三三)年十一月三日、日清戦争の廃砲身(重量一七六〇六)で、日向小学校校庭に建てた。この記念碑は、昭和十八(一九四三)年四月八日、撤去供出した。

奉安殿・忠魂碑・戦捷記念碑の学校敷地内への建立は、戦意高揚・尽忠愛国・皇国精神の心情を培う戦時体制下の教育の一貫であったと推考する。

日向神社の 宝物薙鎌について

日向村誌と麻績村誌に記されている宝物庫(一間半・二間)は、拝殿西にある。宝物は、薙鎌数口、神鏡・刀剣とある。薙鎌一口は、天文期(自一五三二)至一

更に令和六(二〇二四)年十月七日麻績村文化財保護委員の調査で、平成四(一九九二)年四月二日付諏訪大社からの薙鎌一口が本殿に奉納されており、日向神社の宝物が増えた。令和五(二〇二三)年五月二十九日村誌の天文期以前の薙鎌に注目した長野県立歴史館笹本正治特別館長の調査が実施された。この調査報告の概要については後報で記します。

次号に続く
「寄稿」信濃史学会会員

飯森 忠幸



新人スタッフ奮闘中

二〇二六年四月から、おみ図書館の新スタッフとしてお世話になっております、刈間真一と申します。簡単に自己紹介をさせていただきます。

前職は松本市の酒屋で、ワインのプロ「ソムリエ」として長年働いていました。ワインや日本酒をはじめ、ビール類も含めてお酒のことなら何でもお気軽にご相談ください。松本市内のおいしいお店や旬の情報をご案内するのも得意です。

図書館でもワインなどをテーマにしたイベントを開けたら、と考えております。さて、私の趣味ですが、もちろん読書です。特にビジネス書や経済に関する本をよく読みます。

おすすめの本は、『頭のいい人が話す前に考えていること』安達裕哉著です。

この本の最大の特徴は、「話し方（ノウハウ）」ではなく「考え方（思考法）」の本である点です。話す前に一歩引き、客観的な「事実」と自分の「意見」を切り離して整理する習慣が身につくため、コミュニケーション能力が非常に高まる一冊です。



また、パソコンを使って

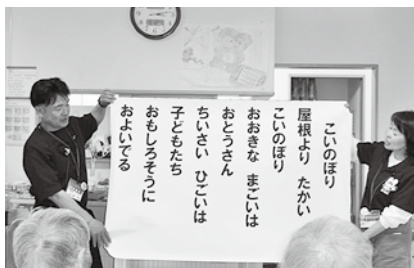
プログラミングやAIに触れることも好きです。便利なアプリを自作したり、AIを暮らしに取り入れたりしながら、日々の生活をより豊かにするお役立ちアイデアを考える時間を楽しんでいます。

図書館の仕事は、「本が好き」という気持ちだけで

は務まらない奥深さがあり、まわりの皆さんに支えていただきながら、毎日学ぶことばかりです。

静かに流れる図書館の時間を心地よく感じながら、毎日楽しく仕事に取り組んでいます。

ぜひお気軽に、おみ図書館へ足を運んでください。どうぞよろしくお願いたします。



▲高齢者施設訪問



▲保育園出張図書館の様子



▲「かりん文庫」入れ替え作業

十二月開催予定

はじめてのワイン講座

香り、味わい、選び方を楽しく学びませんか？

お手軽ワインをおいしく飲める方法の講座です。ワインをもっと身近に。詳細は後日お知らせします。皆さんのご参加をお待ちしています。

麻績小学校図書館便り

のぼり旗とこのぼり

新緑の眩しい季節となり、村内でも青空に元氣よく泳ぐこのぼりを見かけます。今月は、図書時間にこのぼりの由来のお話をしました。

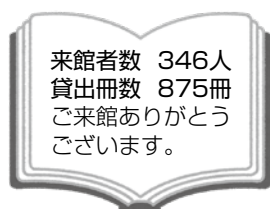
江戸時代、武家では男児が生まれると、旗指物や幟を立てて知らせ、天の神様

にご加護をお願いしたいといわれていますが、町人階級では武家と同じことはできず、江戸中期あたりから、強く元氣な鯉の滝登り（登竜門伝説）にあやかっ、このぼりを揚げるようになったということ。こうして、現代ではどちらも子どもたちの幸せを願う端午の節句の飾りとして定着したようです。ご家庭により方法は違えども、健康やかな成長を願う気持ちは同じですね。



▲僕たち、おかげさまですくすくと育っています！

前月の図書館





談所を開設しております。

当日はいずれの相談も無料で、秘密は固く守られますので、お気軽にご利用ください。

お問い合わせ先

・麻績村社会福祉協議会
心配事相談事務局

(☎六七・三〇九九)

・麻績村役場総務課
行政相談事務局

(☎六七・四八五〇)

「心配事相談所」 「行政相談所」を 合同開催いたします

「心配事相談所」「行政相談所」を次の時間と場所で開催いたします。

日時

六月十八日(木)

午前十時から正午まで

場所

役場 二階会議室

心配事相談は、日常生活でのお悩みやお困りごとを無料で相談いただける事業で、麻績村では年四回定期相談会を開催しております。

行政相談は、国や地方公共団体の仕事やサービスに関する意見や要望、苦情を受け付け、解決をサポートする仕組みで、不定期で相

三十分まで

会場

松本市中町・蔵シツク館

〒三九〇-〇八一

松本市中央二一九-一五

予約・お問い合わせ先

長野県土地家屋
調査士会中信支部

(☎二六・一五九〇)

受付時間は、午前九時から午後二時まで(金曜日は正午まで、祝祭日を除く)

ハローワークから

「六月は外国人

雇用啓発月間です」

事業主の方が外国人を雇用する場合は、事前に適法に就労できる「在留資格」を確認のうえ、氏名などをハローワークに届け出ることが義務付けられています。国内で就労している外国人労働者には、日本人と同様に労働基準法などの労働関係法規が適用されます。

ハローワーク松本では、

外国人の職業相談や外国人雇用を行う事業所の雇入れ・雇用管理に関する相談を行うため「外国人雇用サービスコーナー」を設置して

います。ポルトガル語及び

中国語の通訳を配置して相談を次のとおり行っていますので、お気軽にご利用ください。

ポルトガル語通訳配置日

・毎週木曜日の午前九時から正午まで

・毎週金曜日の午後一時から四時まで

中国語通訳配置日

・毎週月曜日の午後一時から五時まで

お問い合わせ先

ハローワーク松本

外国人雇用

サービスコーナー

(☎二七・〇一一)

部門コード四三三

公民館行事の予定

第二回麻績学級

日時…六月十九日(金)

午後二時から

場所…交流センター

講師…地域防災マネージャー・防災士

宮坂政行さん

演題…『高めよ 防災力』
～その時に備えて～

公民館音楽鑑賞会

日時…六月二十八日(日)

午後二時開演

場所…交流センター
奏者と演目

ピアノスト大室晃子さん
『お話し付き! ピアノ名曲コンサート』



ご冥福を祈る

田中 宏子 81歳 上町

お詫びと訂正

館報四月号五面の一段目に記載されている書籍名に誤りがありましたので、訂正します。正確には次のとおりです。

誤「イン・ザ・

メガチャージ」

正「イン・ザ・

メガチャーチ」